

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【參加議員】

西村 昭三 議員

井関 貴史 議員

【意見交換內容】

○まとめ作成者： 井関 貴史 議員

場所	堺区	① テーブル
議論したテーマ	① 外国人の受け入れについて ② 子育て世代の流入について	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 • 外国人の受け入れ	堺市の外国人人口は、約 2.2 万人。国籍別内訳は、中国 5.5 千人、ベトナム 5.5 千人等。堺市が受け入れ人数の制限はできないが、国が現在総合的に検討している。	
2 • 特区民泊について	年間の営業日数の制限がなく 365 日営業が可能な特区民泊は、大阪府内での新規申請受け付けは、2026 年 5 月 30 日から停止される。	
3 • 子育て世代の流入応援	上下水道料金や保育料無償化等は、大阪市に見劣りするが、鋭意努力中で、図書館・水族館や教育環境の充実を図りたい。	
4 • 上下水道について	将来にわたり持続可能な水道行政を行うために、大阪広域水道企業団で水道用水供給事業に加えて水道事業の統合を進めている。	
5 • 明石市等の子育て支援	明石市や流山市の子育て世代の応援政策は、市の置かれた状況は違うが、参考になる。	

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

山口 典子 議員 山崎 光 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：山崎 光 議員

場 所	堺区	② テーブル
議論したテーマ	教育・保育、若者の政治参画について	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 学校に行きたくない、行きたい子ども達の居場所づくり	子ども達が個々に意思表示ができるようになってきているが、まだまだ居場所づくりに課題はある。	
2 離婚等の際の親権問題について ハーグ条約を国内でも整備してほしい	親権についてはきちんと協議した上で決定するようにしてほしい。	
3 フリースクール運営 フリースクールのあり方にについて	居場所づくりとテーマ共有 フリースクールの補助金など、ハードル等もあり、本市でも運用方法の改善に努める。	
4 大学に通いながらスクール サポーターをしている 教員の待遇改善	スクールサポーターも謝礼一回あたり三千円と時間あたりの待遇ではない、また教員の待遇や、資格なども議会で取り上げられているところ。堺市でも教員が増えるよう努める。	
5 議会がどんなところか興味本位で参加、保育園に入れるハードルを下げてほしい	共働きの家庭は、労働時間により保育園に子供を入れることができるかハードルがある。 本市でも全国の基準になるように議論を続ける。	

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

小野 伸也 議員

藤本 憲 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：藤本 憲 議員

場 所	堺区	③ テーブル
議論したテーマ	子育て（小学校教育）について まちづくり（都心部）について	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 自分の子どもの学校を見て いて、教員の人材確保の困 難がある。堺としてどうの うに取り組むのか。 教員志望の中でも堺にゆか りのある方へのアプローチ など考えるべきではない か。 2年生、35人学級だが、支 援学級の児童を含め37～38 人クラスになっている。先 生が大変だと思う。	市議会としても課題として取り組んでいる。 受験者数が減少していることが課題。 他自治体の志望者へのアプローチなど教育委 員会も取り組んでいるが、堺出身者やゆかり のある方へのアプローチも考えていきたい。 先生の加配は絶対に必要と考えている。ま た、同じ年齢で括って一斉に登校、一斉に同 じ授業でいいのかという問題意識がある。そ の子に応じた学びができるような学校の在り 方も考えていきたい。	
2 憲法に基づいた理想や目的 をもった教育が必要。 地域の大人から子どもへの 挨拶や声掛けをすべき。 問題を起こす教師がいる。 教師の資質が問われてい る。 先生の学校が必要。 制度をいじるばかりではな く、理想をもった教育を。	自治会の取り組みなど、地域のつながりが重 要と考える。自治会への参加が減っているこ とが課題。 教員の質の確保、対策が必要。 ハラスメント研修や自覚をもって取り組む人 づくりが必要ではないか。	
3 子どもは2人とも成人し た。ランドセルが重たく体 に悪いと思っていた。 中学に入るとみんな塾に通	ランドセルについては議会でも他の議員が取 り上げた。 他の保護者からも担任の先生から「学校では 教えきれないで塾に通ってください」と勧	

	い、日中は疲れて授業中寝ていることが増えた。塾の方が頼りになるが、金銭的な負担がある。	められたと聞いている。教員の負担を取り除いて、子ども一人ひとりに寄り添えるようにする必要がある。
4	堺東周辺の今後について気になっている	東西交通についての議論、堺駅から堺市駅まで結ぶ交通が必要と考えている。 ビジョンは様々に堺市から示されているが、建築都市局だけでなく観光や産業も関わって活性化させていくことが必要。 今年度、その観点で堺都心部活性化調査特別委員会がスタートした。
5	千利休や茶の湯文化を活かしたまちづくりを。建物の屋根は全て合掌づくりのまちなみなど。	特徴のあるまちづくりは大事だと考える。環濠エリアで歴史的な町屋を残そうと取り組んでいる。 他市の取り組みを見ていると、歴史的な街並みの保存にしても街づくりにしても、地元の住民や権利者が「こうしたい」という思いを強くもっていることが大事だと感じる。環濠エリアでも住民との合意形成が重要。
6	自転車が借りられるのは便利と周りも言っている。 近隣の空き家が荒れていて、堺も倒壊しそうなのが不安。	空き家について、場所を聞いたところ両議員とも住民から相談を受けており、所管部局に報告、対応について聞いていることをお伝えした。

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

渕上 猛志 議員

兼城 剛 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：兼城 剛 議員

場 所	堺区	④ テーブル
議論したテーマ	不登校対策・情報発信・教育格差・人口減少・高齢者対策・観光振興等	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 寄り添い場の提供	子どもの話を聞ける場の提供とともにスクールソーシャルワーカー等、教育に携わる人材の確保が重要。R7がスクールソーシャルワーカーの点検年度になっている。教職現場の環境を改善することで子どもへのアプローチの機会を増やすことができる。全国的な課題だが、教員等のなり手を増やす政策が必要。	
2 現在の教員の働き方を見ていると進路選択で教職を外してしまう。 教育格差も大きく、幼い頃から留学等で特に英語力に格差を感じる。 教育格差が深刻だと思う。	現役高校生の貴重なお声です。様々な原因で教職員不足に陥っている。働き方改革も含め教職員等の人材確保に向け取り組む。 経済格差の弊害の一つと認識している。	
3 堺市の魅力の情報発信も足りないので。堺に買い物する場所がない。大阪市内に皆買い物に行く。	すべての政策事業において情報発信が足りない。また、住みやすい街づくりに向け魅力向上のための交通網に取り組まなければならない。堺の弱点を補う政策を推し進める。	
4 奨学金の返済が大変。借金して進学する意欲のある方を支援してほしい。	堺市でも返済不要の奨学金給付を行っている。しかし手厚い支援とはいえない。 国が実施している企業代理返還もあるが、周知も含めて取り組んでいる企業も増やさなければならぬ。更なる充実を図ってもらえるよう訴えていく。	

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

札場 泰司 議員

上田 勝人 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：上田 勝人 議員

場 所	西区	① テーブル
議論したテーマ	子育て支援について	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 ○学校施設の空調設備について要望。 特別教室において（第2音楽室など）への空調設置がなく設置が必要であるとの提起がありました。	現状では通常教室には空調が設置されていますが、特別教室（第二教室）へも順次優先順位をつけ設置を進めております。現在、災害時に避難所となる体育館への空調設置が進行中であり、令和8年度から令和10年度にかけて全学校の体育館に設置完了予定であることを説明しました。特別教室への空調設置には1箇所あたり150～200万円の費用がかかり、各学校に30～35箇所の設置が必要ありますが、順次進めてまいります。	
2 ○自転車通学の安全対策について質問があり議論しました。	他の参加者からも自転車の交通ルールが適切に教えられていないことへの懸念が示されました。 特に右側通行や歩道走行など、誤った走行方法が指摘されました。 議員からは、来年から自転車に関する罰則が強化されることに触れ、学校での交通ルール教育の重要性を認識していると述べ、タブレットなどを使用し児童・生徒の安全教育を啓発してまいりますと述べました。 また、自転車レーンなどの交通環境整備の必要性についても議論しました。	
3 ○特別支援教育について、発達障害などを持つ生徒への対応について議論しました。	現在の学校システムでは、こうした生徒のニーズに十分対応できていない状況が指摘されました。 教員の負担増加や人材不足も課題として同時に挙げられ、参加者からは、地域連携を活用し	

	<p>た支援の可能性や、授業スタイルの多様化の必要性が提案されました。</p> <p>その他、クラブ活動における教員の負担軽減や、地域コミュニティ活動の重要性についても意見交換を行いました。特に、外部指導者の活用や地域イベントを通じた子どもたちの社会性の育成について議論しました。</p> <p>意見交換の終盤では、タブレット端末の更新や適切な使用についても短く触れました。参加者からは、高価な機器を大切に使うという意識を子どもたちに教えることの重要性が指摘されました。</p> <p>全体を通して、教育環境の改善と子どもたちの安全・成長を支える体制づくりの重要性が強調されました。</p> <p>議員からは参加者からの意見を議会に持ち帰り、政策に反映させていくことを約束して意見交換を締めくくりました。</p>
--	--

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

西 哲史 議員

萱野 孝弥 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：萱野 孝弥 議員

場 所	西区	② テーブル
議論したテーマ	地域振興	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 行政が共催する地域イベントを増加するのはどうか。	・コンテンツの向上（エッジの効いた中身）や発信方法の改善。	
2 若者が住み続けたいまちにするために、地域の「祭り」を継続する。堺市内に大学を増やして選択肢を増やしたらどうか。	・「祭り」単独の継続は難しいので、自治会とも密に連携する必要がある。 ・近大医学部の例のように大学単体での誘致にはハードルがある。 ・産業誘致と同じパッケージで考えていく。 ・堺市以外の大学に行く人とも関係を維持できるように奨学金を活用することも選択肢としてある。	
3 中学校給食の味がおいしくない（特にお肉）。時間が短い。	・どちらについても改善する必要がある。	

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

水ノ上 成彰 議員

森田 晃一 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：森田 晃一 議員

場 所	西区	③ テーブル
議論したテーマ	子育て、住み続けたいまち、政治参画等	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 上野芝地域にはだんじり祭りなどがない・地域交流が課題と感じる・学童における学校施設の利用拡大を・南区の生きる事業（性教育）の拡大を	堺市としても自治会加入率については課題として認識している。自治会、こども会など過度な負担にならない工夫が必要だと思う。また、防災の観点から重要な組織であることが伝わるように努力したい。	
2 学校給食無償化と質の担保を・大学生等奨学金制度の拡充を・市議会に意見をどのように伝えたらよいのか・独身世帯が地域とつながりにくい	堺市は段階的に小学校給食無償化を進めている。食材費高騰による保護者負担は求めていないが、牛肉が使われていないと聞く。牛乳、米の高騰で質の低下を招かないように監視していく。奨学金制度の募集に対して上限を超えて応募があった。拡充を求めていく。議員に直接伝えること、踏み込んだ内容になれば陳情書の提出や意見陳述もある。堺市ホームページや広報さかいで多様な取組を紹介している。ぜひ、参考にしてほしい。	
3 学校の児童生徒の数にギャップがありすぎる・泉北ニュータウンは不便で大変だと思う	泉北ニュータウンは、本市内で人口減少が一番激しく、課題だと認識している。それも児童生徒の数に直結するので不便を感じないまちにしなくてはならない。	

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

田代 優子 議員 上野 充司 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：上野 充司 議員

場 所	西区	④ テーブル
議論したテーマ	若者、子育て世代が住み続けたいと思うまちについて	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 通学路の改善案を話し合っても対応が遅い。	横断歩道等、警察も関わる案件は確かに時間を要しがちである。できるかぎり善処する。	
2 西区の基本計画を策定中であるが、重点的に何をしたいかが不明確なように感じられる。	行政の特性上、全世代に関連する内容で網羅することになり、結果、特徴が薄いものに仕上がりがち。ご意見として受け止めておく。	
3 慢性的な教員不足を何とかしてほしい。	議会からも処遇やワークライフバランス、職場環境の改善等、様々な提案をしている。	
4 給食はありがたいが、配膳等により時間がとられ、実際に食事する時間が20分程度になり、遅い子は大変である。	改善するよう教育委員会と協議したい。	
5 産後ケア事業を活用できたが、夫が育休を取っていたので、本来は事業の対象外のようなことを言わされた。三人目の子どもで上の子も小さいので活用できたようである。	せっかくの有効な支援を気持ちよく活用できるよう所管部局に伝える。	
6 通勤のことを考えると、子どもが登園できるよりももう少し前にあづかってもらえると助かる。そこに教員OBなどを採用	議会でも同じような議論があり、少しで進むよう取り組みたい。	

	してはどうか。	
7	“学校群”よりも統廃合を進めたほうがいいのでは。	地域のご意見等を伺う中で、統廃合はどうしても時間要する。これだけの少子化でいずれ進めていかなければならぬが。学校群は、教員側の主体的な取り組みとして一定の成果もでている。
8	若年層・子育て世代への施策がアピールされているが、障害者も含め全世代にまんべんなく支援する施策がいいのでは。	今までの政治が投票率の高い年代層に偏った施策を進めてきた面もある。少子対策や人生の中でもお金が必要な年代を支援するという考え方もある。

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

西田 浩延 議員

大西 耕治 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：大西 耕治 議員

場 所	美原区	① テーブル
議論したテーマ		若者・子育て世代が住みやすいまちづくりを中心にフリートーク
参加者（質問・要望等）		議員（回答・見解等）
1	現在、83組200名の子育てサークルを運営している。北区では助成金が出ると聞いているが、美原区では実施できないのか。 1人500円程の助成をしていると聞いている。	北区では独自で子育て世代への支援を充実させている。美原区では実施できていないので要望していきたい。
2	美原区で子育てに不便を感じるのは、病院が少ないこと。小児科は一つしかない。もっと増やしてほしい。予防接種は堺市内で受けなければいけないので困っている。	多くの方が長年感じている案件であり、周辺市の病院に行くことが常態化している。子育てしやすいと感じてもらえるよう街づくりに努めたい。
3	まちなか文庫、図書館に子ども向けの蔵書が少ない。取り寄せしなければならず、子どもと一緒に本を選べない。それをしようすれば本屋に行くしかない状況。 また、まちなか文庫を堺市で行っていることを知らない人も多い。もっと広報してほしい。	子ども向けの書籍と広報の充実を図りたい。

4	美原町時代は給食がとてもおいしかった。 小学校ではテーブルマナーもあった。	現在の給食もおいしいと聞いている。更に食育も含め充実を図っていきたい。
5	道路計画の進捗と自転車が安全に通行できる道路環境を整備してほしい。	用地買収も含め時間は要するが、着実に進めていくよう働きかけをしていきたい。個別の危険箇所については、具体的な改善方法も含めお知らせいただければ所管部署につなげていきたい。また、不具合箇所を発見した際にはLINE緊急通報システムで連絡できるので活用をお願いしたい。(利用方法を説明)
6	ゴミを出す時間が早い。カラスが荒らすのできりぎりになって出すようにしている。	地域によって出し方が違うようだが、ゴミ箱やケースに入れて出せる地域もあるため、カラス等の被害にあわないゴミ出し方法を提案したい。
7	万博について 行けなかったが終了後もソフィア堺等にも来てもらえて大変盛り上がっていた。 行ったことで子どもが言語に興味を持つようになった。船を出しているのを後半で知った。乗りました。 もっと堺はいいところがあると海外の人から言われたが、宣伝・アピールが伝わっていない。お土産が何かを聞くと堺の包丁がいいと言われた。	万博開催による堺市への波及効果も具体的に示されている。更に堺市が発展できるよう尽力していきたい。
8	古代米作りや農業体験は人気があるので拡充してほしい。	美原区の魅力の一つとしてしっかり拡充できるよう努めていきたい。
9	公園に子どもが少ない。	民間とコラボして少しずつ盛り上がってきているので進めていきたい。
10	美原区は住みやすいが高校、大学がないので、学生時代も定期代がかかる。 お出かけ応援カードを子育て世代にもほしい。	少しでも支援できるよう要望していきたい。

11	大阪市は習い事に補助が出るのがうらやましい。堺市も検討してほしい。	少しでも支援できるよう要望していきたい。
----	-----------------------------------	----------------------

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

白江 米一 議員

藤本 幸子 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：藤本 幸子 議員

場 所	美原区	② テーブル
議論したテーマ	子育て支援、美原区のまちづくりなど	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 保育士、介護士、教員などのなり手不足や過重労働が問題となっているが、堺市としてできることは。	保育士の処遇改善など議会でも議論してきた。全国自治体で独自支援策に取り組んでおり、堺市でも前進させられるよう取り組みたい。教員の負担軽減について、人員増や業務の見直しなど様々な議論がされている。	
2 中学校の吹奏楽部の楽器が古く、新しいものを使うには保護者負担と言われた。子どもが打ち込めるよう部活の充実を図ってほしい。	備品の更新や購入については、予算の確認をして具体的に要求したいと考えている。部活について、教員の負担も大きく、外部指導者などにも入ってもらい子どもにとって充実した部活となるよう要望していく。	
3 子どもの保育所で年々求められる同意書が増えていく。そういったことも含め業務過多なのではないか。ICTも活用し簡略化できることは進めてほしい。	保護者が保育施設を検索できるアプリなどICTの導入も進められている。保育現場の業務の簡略化について、具体的な事例もお聞きしながら堺市に伝えていく。	
4 自営業者に対しての支援策がないと感じている。	国からの物価高騰対策交付金も報道されている。行き届く支援となるよう要望したい。	
5 309号線が渋滞し、抜け道となる旧市街やグリーンベルトも通行車が増え、生活や営業に支障が出ている。	大変な負担になっていると思う。道路整備なども含め課題解消していけるよう、今後も求めていく。	
6 自治会について、共働きで参加できない、こども会の加入が少ない、若い世代は電話を利用しないがLINE	安全、防災の点でも自治会は大きい役割を担っていただいている。堺市との合併前の状況と違う点もあるかと思うが、堺市の自治会活動への支援が強化できるよう求めていきた	

	では繋がるなど、地域の取組を工夫しながらやっている。イベントなどの取組も重要であり、自治会への財政支援を強めてほしい。	い。
7	図書館の本や資料をデジタルで試し読みできないか。	中央図書館の建替えなど、図書館の議論はいま活発に行われている。デジタルの活用についても、今後採り入れて利便性が向上するよう要望していく。

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

大西 公彦 議員

信貴 良太 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：信貴 良太 議員

場 所	美原区	③ テーブル
議論したテーマ	市民の政治参画について・ 防災について・空き家について・ 若者子育て世帯が住み続け たいと思うまちづくりについて	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 市民の政治参画について ・北欧諸国で実施される模擬投票を導入したらどうか。 ・人口の少ない氷河期世代を対象にした政策を行うことで、政治からの疎外感は一定解消される。 ・定期的に自治会や市民を訪ねるなど、議員から相談事の聞き取りを行うべきである。 ・市議会議員2人は少なすぎる。	投票行為に、子どもの頃から慣れ親しむことは重要である。模擬投票の検討、主権者教育の強化等に取り組む。 厳しい時代を過ごした世代に対しては課題も多く、その世代を対象とした政策は重要だと認識している。 議員の数に対する市民の意見は重要であり、今後の議論の参考にしたい。	
2 防災について ・近所の方の顔が分かる関係が好ましい。 ・災害時、緊急的に物資補給能力のある民間商店の過疎地を解消してほしい。 ・防災意識を向上させる取組を積極的に実施する必要がある。	地域のつながりは、平時の見守りだけでなく、災害時の安否確認・物資融通・避難行動にも直結する。自治会の加入促進に加え、子育て世帯・高齢者・単身者を含めた「顔の見える近隣ネットワーク」を構築したい。	
3 空き家について ・空き家の管理不全を解決してほしい。 ・行政指導に従わない場合は、厳しい罰則を与えること。	管理不全の空き家は、防災・防犯・景観・衛生・倒壊等、複数のリスクを抱えており深刻な課題であると認識している。早期発見・迅速対応・責任の所在明確化に努めたい。	

4	若者子育て世帯が住み続けたいと思うまちづくりについて。 ・特に通学路については、溝蓋の管理を徹底すること。	児童のケガを防ぐためにも、通学路の安全な環境は徹底したい。溝蓋についても、指摘があった際は迅速に対応するとともに、日頃の管理についても万全に行う。
---	--	---

第15回議会報告会 第2部意見交換のまとめ

【参加議員】

木畠 匡 議員

松木 僅 議員

【意見交換内容】

○まとめ作成者：松木 僅 議員

場 所	美原区	④ テーブル
議論したテーマ	普段の生活で困っていること	
参加者（質問・要望等）	議員（回答・見解等）	
1 • 耕作放棄地、溜池の管理 （最終自治会となる） • 美原高校の廃校	• 溜池は水利組合の方が管理してくれていたが、高齢化に伴い難しくなっている。市として見過ごせない課題である。 • 教育のあり方をどう考えるか、教育の効果は長期的な視点で見ていく必要がある。	
2 • 防犯灯のLED化（暗いところがある） • 美原の渋滞	• 防犯灯は自治会管理だが、市が助成している。 • ららぽーとができた影響もある、市が誘致した責任もあるため、パッケージで考えていく必要がある。	
3 • 地区の道路の白線が消えている • 斎場の需要と供給	• 道路白線は市と警察の管轄があり、連携しつつ市も責任を持つべき。 • 斎場は現状の需要については、計算上は対応可能、今後連携や課題整理が必要。	
4 • 福祉担当が決まるまで時間がかった • バスの本数、道路の渋滞（北野田駅線路）	• 福祉の対応が遅れたのは、理由を聞かないとわからないが、市へ伝える。 • バスや電車関係は、民間事業者の利益とも関係してくる部分である。今後も人口減少によってこれからもこのような問題はでてくるため、あり方を考えなければいけないと考える。	